

SGI® InfiniteStorage Data Migration Facility (DMF)

特長

- ・ 自動データマイグレーション
- ・ データ・インテグリティ (完全性)
- ・ スケーラブル・パフォーマンス
- ・ 大容量スペース
- ・ 容易なシステム管理



ハイパフォーマンス環境に対応したデータ・ライフサイクル・マネジメント

テクニカル分野のユーザが抱える問題で、最大の課題となるのは日々増大するデータの管理です。あらゆる業界で情報量が急増し、膨大なデータを効率的に管理するツールの必要性はますます高まっています。SGIは、ますます複雑になるデータを管理するために、データ・ライフサイクル・マネジメント (DLM) の先進ソリューション、DMF (Data Migration Facility) を提供します。この業界最先端のハイパフォーマンス DMFは、すでに多くのSGIのお客様に利用されているテクノロジーで、高い実績を誇っています。お客様にとって、ハイパフォーマンスで信頼性のある効率的なデータ管理は不可欠です。さらに、DMFの無限ともいえる仮想ストレージ容量にSGI® InfiniteStorage XFS® およびSGI® InfiniteStorage CXFS®共有ファイルシステムを組み合わせることで、IRIX®, Solaris®, Windows®, AIX®, Linux®, Mac OS® Xのマルチプラットフォームをサポートし、最高のI/Oバンド幅とデータ可用性を備えた完璧なデータ管理ソリューションが実現します。

自動データマイグレーション

DMFは、ストレージ媒体を仮想化し、ユーザ定義に基づいて自動データマイグレーションを行うため、最適コストで最高のパフォーマンスが実現します。古いデータや利用頻度の低いデータを低価格なニアラインまたはオフラインのストレージ媒体へ移行することで、DMFはアクセス頻度の高いデータを優先的に高速アクセス可能な高機能ストレージに配置することができます。従って、全てのデータを最新で最高速、高価なストレージ媒体に保存する必要がなくなり、その分のコスト削減が可能となります。このフレキシビリティにより、お客様はストレージ媒体への投資をコントロールし、RAID、JBOD、ATA、ディスクテープ、その他のストレージデバイスなど、コストとパフォーマンスのトレードオフを最大限に活かす事ができます。

データ・インテグリティ

ディスクやテープ・サブシステムの管理、アーカイブの作成、ストレージロケーションのジャーナリングを手作業で行い、データへ後日アクセスできるようにすることは、大変な時間が掛かります。DMFは、透過的なストレージ管理でこれらの課題を克服しており、お客様は本来の仕事である自動車の設計や宇宙研究に尽力することができます。さらに、DMFはディザスタ・リカバリ機能を装備しており、ファイルシステムの障害発生時には自動的に障害の検知/復旧を行い、データの整合性を維持します。

スケーラブル・パフォーマンス

スケーラビリティは、ハイパフォーマンス・コンピューティング (HPC) におけるデータ・ライフサイクル・マネジメント・システムでは必要不可欠です。DLMの特長の1つとして、スケーラブルパフォーマンスが挙げられます。お客様の求めるパフォーマンスに関わらず、DMFには負荷をコントロールする機能があります。DMFを利用されるお客様は、通常1日に150GBから500GBものデータを移動し、環境によっては毎日3TB以上ものデータを移動します。

大容量スペース

情報が爆発的に増大し、管理できるファイル数、ファイル容量、ファイルシステム容量は極めて重要となります。DMFを使えば、シングルファイルシステムまたは複数のファイルシステム間に2,000万以上のファイルを管理する事が可能です。1日に複数の数ギガバイトのファイルが移動したとしても、DMFは数千テラバイトまでの大容量に対応しているため、拡張性に関する心配がありません。



SGI® InfiniteStorage Data Migration Facility (DMF)

容易な管理

DMFは、最終アクセス日時などのユーザ定義の基準に基づいて、データをオンラインディスクからニアラインまたはオフライン媒体へ移行させることで、オンラインディスクのリソースを効率的に管理します。そのため、DMFはユーザまたは管理者の介入なしで、自動的データマイグレーションを行います。DMFは、スタンドアロンのファイルサーバからマルチノードのSANクラスタ、またはスーパーコンピューティング・ストレージ管理システムまで、様々な環境において最適なパフォーマンスを提供します。DMFのユーザ定義は、ファイル数、ファイル容量、ファイルシステム容量、バンド幅といった条件を基に、柔軟にカスタマイズすることができます。

TCO削減

DMFは、大規模ストレージ環境を運用・管理する総所有コスト(TCO)を低減します。テープストレージは、ディスクに比べて低価格であり、DMFはお客様のデータをより少ないディスクスペースで、より効率的に管理することができます。DMFの利便性により、ストレージ管理のオーバーヘッドとシステム管理の時間を大幅に削減します。DMFは、きわめて低いオーバーヘッドと実績のあるテクノロジーにより、お客様のストレージ管理において必要不可欠となるでしょう。

業界をリードするデータ・ライフサイクル・マネジメント

HPC環境に対応した先進ソリューションであるDMFには、以下の特長があります：

- データ・インテグリティ：追跡記録、媒体チェック、リカバリ、ジャーナリング、2相コミットの機能を実装するデータセキュリティ
- パフォーマンス：高速アクセス、システムの低オーバーヘッド、効率的スケジューリング
- 大容量スペース：数百テラバイトからペタバイト単位のストレージ容量を管理
- 容易な管理：ユーザ定義に基づき、管理者の介入なしに自動作動。物理的ロケーションを問わず、いかなる環境でもデータへの高速アクセスが可能
- TCO低減：低価格なニアラインディスクとテープを使い、お客様の利用可能なストレージスペースを劇的に改善 **容易な管理**

DMFは、最終アクセス日時などのユーザ定義の基準に基づいて、データをオンラインディスクからニアラインまたはオフライン媒体へ移行させることで、オンラインディスクのリソースを効率的に管理します。そのため、DMFはユーザまたは管理者の介入なしで、自動的データマイグレーションを行います。DMFは、スタンドアロンのファイルサーバからマルチノードのSANクラスタ、またはスーパーコンピューティング・ストレージ管理システムまで、様々な環境において最適なパフォーマンスを提供します。DMFのユーザ定義は、ファイル数、ファイル容量、ファイルシステム容量、バンド幅といった条件を基に、柔軟にカスタマイズすることができます。

システム仕様

サポートするプラットフォーム <ul style="list-style-type: none">DMFは現在IRIXR6.5、SGI® ProPack™ 4搭載SUSE LINUX Enterprise Server 9をサポート、SGI® Altix 3000シリーズ、SGI® Altix 300シリーズ、SGI® Origin® 3000シリーズ、SGI® Origin® 350 サーバシステムで利用可能SGI® InfiniteStorage CXFS®共有ファイルシステムとの併用では、ネットワーク経由のデータ転送なしにCXFSがサポートする以下のプラットフォーム上データの管理が可能：<ul style="list-style-type: none">IRIX, Solaris, Windows, Linux, AIX, MAC OS X(予定)CXFSなしのマルチOSのSAN環境では、以下の方法により、異なるOSからアクセス可能な全てのプラットフォームの全てのデータを管理可能：NFS, FTP、および Samba®、またはSmartMedia®、StorageTek Horizon 経由	サポートするディスクレイおよび環境 <ul style="list-style-type: none">ディスクレイ<ul style="list-style-type: none">SGI® InfiniteStorage RMシリーズSGI® InfiniteStorage TPシリーズファイバチャネルおよびSCSI環境直結型ストレージまたはSAN環境	高可用性 <ul style="list-style-type: none">FailSafe for DMFは、DMF機能をプライマリサーバからFailSafeクラスタ環境のスタンバイ・サーバへ移行し、共有ディスクを管理						
	サポートするテープドライブおよびライブラリ <ul style="list-style-type: none">ドライブ：LTO2/3、SDLT320、DLT8000、9840B/C、9940B、SAITテープドライブライブラリ：StorageTek® L20、L40、L80、L180、SL500、SL8500Sony PetaSite (IRIXのみ)ADIC Scalarシリーズ (IRIXのみ)	API <ul style="list-style-type: none">Data Management API(DMIG=DMAPI)を使用してカーネルに改変を加える必要なしに階層化ストレージ管理ソフトウェアの利用が可能。また、同様にハイパフォーマンスデータプログラムもディスク自体を直接操作したり、ファイルシステムの構造についての知識を学ぶ必要なしに利用可能						
	ストレージ容量 <table border="1"><tr><td>最大ファイル数</td><td>90 億ファイル</td></tr><tr><td>最大ファイル容量</td><td>900 万TB</td></tr><tr><td>最大ファイルシステム容量</td><td>1,800 万TB</td></tr></table>	最大ファイル数	90 億ファイル	最大ファイル容量	900 万TB	最大ファイルシステム容量	1,800 万TB	サポートされるバックアップソフトウェア <ul style="list-style-type: none">XFS® Dump & RestoreLegato NetWoker®Atempo™ Time Navigator®Other utilities that use DMAPi
最大ファイル数	90 億ファイル							
最大ファイル容量	900 万TB							
最大ファイルシステム容量	1,800 万TB							

©2006 SGI Japan, Ltd. All rights reserved. 掲載されている仕様は、予告なしに変更される場合があります。SGI, Silicon Graphics, CXFS, IRIX, Altix, Origin, Onyx, FailSafe, SGIのロゴマークおよびSGIのキューブは日本SGI株式会社の登録商標です。XFS, The Source of Innovation and DiscoveryはSilicon Graphics, Inc.の登録商標または商標です。LinuxはLinus Torvalds氏の登録商標です。WindowsおよびWindows NTはMicrosoft Corporationの登録商標です。SolarisはSun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。Mac OSはApple Computer, Inc.の登録商標です。このデータシートの中で掲げられたそのほかの商標については商標の所有者に所有権が属しています。(02/2006)



日本SGIは地球環境に優しい企業を目指しています

日本SGIは様々なソリューションの提供を通じてお客様の製品の開発・設計の過程において発生する紙や燃料等の資源消費量やCO2排出量の低減を行い、省資源、省エネルギー化に貢献しています。

日本SGI株式会社

〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階

TEL: 0120-161-086 FAX: 0120-161-087 <http://www.sgi.co.jp>

本社	TEL: 03-5488-1811 (大代表)	FAX: 03-5420-7201
本日本支社	TEL: 06-6343-6700 (代表)	FAX: 06-6343-6713
中部支社	TEL: 0565-35-2561 (代表)	FAX: 0565-35-2189
つくば・東北事業所	TEL: 029-858-1551 (代表)	FAX: 029-858-1071
東北営業所	TEL: 022-221-2301 (代表)	FAX: 022-221-2304
北海道営業所	TEL: 011-708-1511 (代表)	FAX: 011-758-2789
テクニカルサポートセンター 横浜ラーニングセンター	TEL: 045-682-3700 (代表)	FAX: 045-682-0856